

# 令和3年度 第1回 図書館協議会 会議録

## 1 日 時

令和3年6月28日（月）午後3時15分～午後4時15分

## 2 場 所

ラトブ4階 いわき総合図書館学習室

## 3 出席者

### (1) 委 員

大沼委員、中村委員、草野（千）委員、柳田委員、草野（祐）委員、三重野委員、小野委員、有賀委員、長岡委員、栃内委員

### (2) 事務局

#### ア いわき総合図書館

館長、武山副館長、大浦副館長、渡邊主任主査、田仲主任主査、総務管理係長、情報資料係長

#### イ 地区図書館

小名浜図書館長、勿来図書館長、常磐図書館長、内郷図書館副館長、四倉図書館長

## 4 委員長、副委員長の選出

## 5 議事

### (1) 報告事項

ア 新型コロナウイルス感染症対策への対応について

イ 第四期いわき市子ども読書活動推進計画について

ウ 令和2年度図書館運営実績等について

（ア）実績統計

（イ）事業実施報告

エ 令和3年度図書館運営方針等について

（ア）運営目標

（イ）事業計画

（ウ）移動図書館運行計画

（エ）電子図書館の導入について

（オ）図書館事業に係る市議会からの質問及び答弁について

## 1 開会

(委員 10 名中 10 名が出席しており、いわき市立図書館協議会規則第 4 条第 1 項の規定による半数以上の出席があり、会議が成立した。)

## 2 いわき総合図書館長あいさつ 館長

## 3 図書館協議会の概要

事務局より、会議資料 3～4 頁に基づき説明した。(総務管理係長)

## 4 委員長、副委員長の選出

いわき市立図書館協議会規則第 2 条第 2 項の規定による委員の互選により、委員長に草野チエ子委員、副委員長に小野順一委員が選出された。

## 5 議事

いわき市立図書館協議会規則第 2 条第 3 項の規定により、草野委員長が議長となり、会議を進行した。

### (1) 報告事項

#### ア 新型コロナウイルス感染症対策への対応について

事務局より、会議資料 6～7 頁に基づき説明した。(総務管理係長)

#### (意見、質疑応答)

委員長：令和 2 年 5 月 21 日～31 日までの取組みとして、10 時～12 時までを高齢者、妊婦優先時間として設定していたということで、いわき市の図書館の優しさを感じた。今後も弱者のために、こう言った気配りをしていただければ、大変ありがたいと思う。

#### イ 第四期いわき市子ども読書活動推進計画について

事務局より、会議資料 8 頁に基づき説明した。(情報資料係長)

#### ウ 令和 2 年度図書館運営実績等について

##### (ア) 実績統計

事務局より、会議資料 9～15 頁に基づき説明した。(総務管理係長)

##### (イ) 事業実施報告

事務局より、会議資料 16～22 頁に基づき説明した。(情報資料係長)

## エ 令和3年度図書館運営方針等について

### (ア) 運営目標

事務局より、会議資料 23～26 頁に基づき説明した。(大浦副館長)

### (イ) 事業計画

事務局より、会議資料 27～32 頁に基づき説明した。(情報資料係長)

### (ウ) 移動図書館運行計画

事務局より、会議資料 33～34 頁に基づき説明した。(渡邊主任主査)

### (エ) 電子図書館の導入について

事務局より、会議資料 35 頁に基づき説明した。(田仲主任主査)

### (オ) 図書館事業に係る市議会からの質問及び答弁について

事務局より、当日配付資料に基づき説明した。(武山副館長)

### (意見、質疑応答)

三重野委員：大学は短大も含め、国公立、私立を合わせて 600 ほどあるが、何年も前から電子図書館の導入に向けて各校が進めており、実施もされている。そういったことから、市立図書館においても、電子図書館の導入について、推進していただきたい。

事務局：電子図書館については、今年度、補正予算で措置をした事業であり、次年度以降についても、引き続き予算要求をしていきたいと考えていることから、今後とも委員の皆さまにご意見をいただきたい。

※ 委員長より、せっかくの機会であることから、委員お一人お一人から意見をお伺いしたい旨の発言があった。

副委員長：経済界からの意見として、日本の企業の 99.7%は中小企業であることから、図書館のビジネス支援について、もう少し強化していただければありがたい。現在、コロナの状況もあり、小規模事業者の廃業が増えているが、高齢の方も増えているため、例えば、ビジネス支援のテーマ展示などに、事業承継などのテーマを加えていただけると、後継者への事業引継ぎの際の情報提供の場となり、事業の継続に向けた支援になるのではないかと思う。

大沼委員：これまでも、図書館の方とは、「第四期いわき市子ども読書活動推進計画」について情報交換をしてきたが、32頁の「この本よんだ？」団体用パックの貸出実績を見ると、いわき市には63校の小学校があり、中学校を併せると100以上となるが、小学校1・2年生用で11パックというのは少ないと感じた。学校にも毎年、「この本よんだ？」という冊子が送付され、図書館教育担当の者が活用しているが、この冊子で推薦されている図書をもう少し子どもたちに直に届ける方法はないかと考えている。

また、司書に憧れている子どもたちもたくさんいるので、子ども司書育成事業の実施について、より周知に努めていただければと思う。

中村委員：「第四期いわき市子ども読書活動推進計画」の中の新しい取組みの1つとして、「高校図書委員等のおすすめ本の展示」というものがあるが、生徒の協力を得る必要があることから、今年度の開催時期や何冊展示したいか等について、早めに決定したいと考えている。

また、会議資料の事業実施報告に「この本よんだ？」パックとテーマ別調べ学習支援パックの貸出実績についての記載はあったか。

事務局：会議資料の20頁に記載がございます。

中村委員：確認できました。

また、テーマ別調べ学習支援パックについて、先日、借りたいと思い、ホームページで検索したところ、リンク切れまたはページが消えてしまっている状態なので、修正していただきたい。

事務局：対応いたします。

中村委員：「第四期いわき市子ども読書活動推進計画」の52頁に記載のある重点的取組について、SNS（Twitter）を活用した児童書等に関する情報発信の令和7年度目標値が24回とされているが、これは年間ということか。

事務局：年間で24回となります。

中村委員：そうであれば、正直なところ少ないと感じる。一般企業であれば毎日投稿していることもあり、2週間に1度となると生徒たちはほとんど見

ないのではないかと。新しい投稿ができなくても、頻繁に自らのツイートをリツイートし直すだけでも大分違うと思う。

柳田委員：5月に読み聞かせのため、保育所、小学校に行く予定となっていたが、市立図書館が休館になってしまったことから、季節ものの大型絵本を借りるため、県立図書館を利用した。その際、県立図書館の図書のきれいさに驚いた。市立図書館から借りた大型絵本にはキャンディーやお煎餅のかすがついていることがあり、どうしてこのように図書を扱うのかと悲しくなることがあるが、県立図書館の大型絵本は箱に収納されたまま、持ち運び用のケースに入れられており、さらに貸出の際には用途（使用目的、使用場所、返却日等）を記載する必要があることなどから、借りる側も責任感を持って取り扱っているのではないかと思う。市立図書館でも、ものを食べている手では触らないように注意を促す表示をする等の工夫は必要ではないかと考える。

草野(祐)委員：重点事業として、子ども読書活動の推進があげられているが、地域の中で、読み聞かせなど積極的に子どもが読書をする環境がないと難しいと思うので、乳幼児期は親も含め、地域とのつながりが必要であると考えている。両親が仕事をしている家庭の小学生であれば、放課後児童クラブ等の場を活用しながら、読書ができる機会や本を知る機会を提供できれば、より良いと思う。そのためには、支援ボランティアの育成が必要であると考えており、コロナ対策を図りながら計画的に実施していただきたい。

また、電子図書館の導入について準備を進めているということで、導入予定の電子書籍約2,000冊の分類内訳が定まった際には、ご報告いただければと思う。

三重野委員：SNSの活用ということで、メールマガジンを加えてはどうか。

また、子どもの不読率が上昇しているという資料を見て、幼少期から読書に親しむための様々な取組みをしてきたうえでの数値だと考えると、今後の厳しさを感じる。大学生の場合は、大学の図書館を積極的に利用したり、AmazonやKindleなどで電子書籍を利用したりと、よく読書する学生と全く読まない学生とに二極化している。これには、幼少期の読書体験も影響していると思うが、今は、個人で手軽にメディアを選べる時

代であり、本しかなかった時代に比べるとメディアの数が増えているので、子どもたちの年齢が上がってくるにしたがって、本ではない別メディアに移行していつているのではないかと思う。そういったことを踏まえ、図書館も様々なメディアを活用していつてはどうかと思う。

有賀委員：近代資料やそれ以前の近世資料は手に触れる機会が少ないので、そういったものの収集にも努めていつていただきたい。

長岡委員：音訳ボランティアをしており、図書館には、目の見えない方への対面朗読の場を提供いつている。コロナ禍にあり、難しいとは思いつが、こういった場を広げていければと考いつている。目の見えない方に向け、FMいわきなどラジオ局と提携して情報を発信していつくことも大事であると感じた。

栃内委員：重点事業である支援ボランティアの育成には是非努めていつていただきたい。

草野委員長：第1回目の協議会であったが、委員の皆さまからはそれぞれのお立場からたくさんのご意見をいただき、感謝している。図書館としても大変参考になったのではないかと思う。

## 7 その他

事務局より、図書館用語集を配布した。

## 8 閉会